

事業評価書

補助事業名	防災に関する事業:救助工作車維持事業(基金)								
補助事業者名	木更津市長								
実施場所	木更津市内								
補助事業の成果の目標	<p>現在の木更津市は、人口の増加や新たな開発行為等に伴う人や物流量の増加により、災害出動回数が多くなることが見込まれている。</p> <p>また、災害の中でも対応が困難で専門の知識や技術が必要な救助活動は、木更津市消防署に1隊1台のみの配置である救助隊が担い救助工作車を活用している。</p> <p>この救助工作車は、購入から20年以上が経過し、車両が故障しても部品の供給は乏しく、修理に関しても高額になりつつあり、車両の早期更新が望まれている。</p> <p>このことから、早期に基金を積み立て車両更新を行うとともに、車両更新までに発生し得る見込むことができない高額な修理や、車両更新後の点検修理等を基金で本事業を実施することで、常時万全な状態で救助活動ができる体制が確保され、木更津市民が安心して暮らせる環境を創設することを目標とする。</p> <p>【参考指標】 救助隊出動件数 177件(令和4年中) 木更津市住民基本台帳人口 136,194人(令和5年4月現在)</p>								
補助事業の内容	救助工作車の維持・更新								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和元年度から令和3年度まで 基金の処分:令和2年度から令和14年度まで								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	元	60,872,000				60,872,000	0	60,872,000	0
	2	53,800,000			24,348	53,824,348	0	114,696,348	0
3	67,000,000			45,878	67,045,878	0	181,742,226	0	
4	0			72,696	72,696	175,000,000	6,814,922	175,000,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 購入後、20年以上経過し、劣化が激しかった救助工作車を、最新の車両に更新することができた。</p> <p>旧車両には搭載していなかったクレーンやリアウインチを搭載するとともに、様々な高度救助資機材が搭載され、救助活動の幅が大きく広がった。</p> <p>また、救助隊員が記録している活動報告書や日々の整備日誌に基づき、救助隊員に聞き取り調査を実施したところ、「最新の車両に更新したことにより救助活動の幅が広がるとともに、安全性が確保され、万全な活動が行える。」との意見があったことから、市民が安心して暮らせる環境が確保されたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ホームページ上で特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を記載した。また、更新した救助工作車の車体後部に「R4. 防衛省補助」と文字を記載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	令和6年度以降は、車両の修理や資機材の更新を予定している。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	—								